

検査ニュース

Vol.4 No.10

ご挨拶

平素より佐賀県健康づくり財団 佐賀県健診・検査センターの業務にご協力及びご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

今回は、検査内容変更についてご案内致します。

佐賀県健康づくり財団

佐賀県健診・検査センター

専務理事 枝 國 源 一 郎

●検査内容変更

(令和3年4月1日ご依頼分より)

案内書掲載頁	項目コード No	検査項目	変更内容	現	新	備考
46	1156	トリプシン	検査方法	ELISA	ラテックス凝集比濁法	全自動測定機器対応測定試薬への変更に伴う、検査方法、基準値、報告範囲の変更
			基準値 (単位)	100~550 (ng/mL)	210~570 (ng/mL)	
			報告範囲	50未満、50~99900000	30未満、30~99900000	
48	2404	I型コラーゲン架橋 N-テロペプチド (NTx) (骨粗鬆症)	検査方法	ELISA	CLEIA	全自動測定機器対応測定試薬への変更に伴う、検査方法、報告範囲、備考欄の変更
			報告範囲 (単位)	NTx濃度: 部分尿20以下、21~9999999 (nmolBCE/L) クレアチニン換算値: (クレアチニン濃度による異なる) ~999999.9 (nmolBCE/mmol・CRE)	NTx濃度: 部分尿15未満、15~9999999 (nmolBCE/L) クレアチニン換算値: 変更はありません (nmolBCE/mmol・CRE)	
	備考欄		午前中の第二尿をご提出ください。	午前中の第二尿をご提出ください。 血尿でのご提出は避けてください。		
53	1443	トロンボモジュリン	検査方法	EIA	CLEIA	全自動測定機器対応測定試薬への変更に伴う、検査方法、検体量、容器、単位、基準値、報告範囲、備考欄、検体の取り扱い方法の変更
			検体量 (mL)	血清 0.3	血清 0.4 血漿 0.4	
			容器	スピッツ	スピッツ 凝固	
			単位	FU/mL	U/mL	
			基準値	M 2.1~4.1 F 1.8~3.9	血清 12.1~24.9 血漿 8.7~22.7	
			報告範囲	1.0以下、1.1~31.9、32.0以上	5.0未満、5.0~199、200以上	
			検体の取り扱い方法	(記載なし)	血漿:3.2%のクエン酸ナトリウム0.2mLに血液1.8mLの割合で採血し、転倒混和を5~6回繰り返した後、速やかに血漿をご提出下さい。	
75	1719	抗セントロメア抗体	検査方法	ELISA	CLEIA	測定試薬販売中止に伴う試薬の変更、検査方法、基準値、報告範囲の変更
			基準値 (単位)	血清 10.0未満 (Index)	血清 10.0未満 (U/mL)	
			報告範囲	5.0未満、5.0~299、300以上	2.0未満、2.0~499、500以上	

検査ニュース Vol.4 No.10

案内書掲載頁	項目コード No	検査項目	変更内容	現	新	備考
76	1768	ループスアンチ コアグラント (希釈ラッセル蛇毒時間法)	基準値	1.3未満	1.2以下	日本血栓止血学会の推奨法である Normalized Ratioを使用し、同学会の推奨基準値と同等の基準値を採用している測定試薬へ変更
			報告範囲	0.07以下、0.08~14.99、15.00以上 (中和前凝固時間) 10.0以下、10.1~149.9、150.0以上(秒) (中和後凝固時間) 10.0以下、10.1~149.9、150.0以上(秒)	0.1~99.9 (中和前凝固時間) 16.0未満、16.0~239.9、240.0以上(秒) (中和後凝固時間) 6.0未満、6.0~120.9、121.0以上(秒)	
114	2210	ラモトリギン	基準値 (治療濃度範囲)	(設定なし)	2.5~15(μg/mL)	TDMガイドラインに基づいた基準値、採血時刻への変更
			採血時刻		次回投与直前 (Trough濃度)	
	2279	トピラマート	基準値 (治療濃度範囲)	(設定なし)	5~20(μg/mL)	
採血時刻			次回投与直前 (Trough濃度)			
2277	レベチラセタム	基準値 (治療濃度範囲)	(設定なし)	12~46(μg/mL)		
116	2250	バンコマイシン	検査方法	EIA	ラテックス凝集比濁法	測定試薬の変更に伴う、検査方法、報告範囲の変更
			報告範囲 (単位)	4.0未満、 4.0~999999.9 (μg/mL)	2.5未満、 2.5~999999.9 (μg/mL)	
75	1764	抗LKM-1抗体	所要日数	2~5	2~8	所用日数の変更
88	1790	抗IA-2抗体	所要日数	3~6	3~9	

●便中ヘリコバクターピロリ抗原 (令和3年4月1日ご依頼分より)

検査方法、採取容器変更のお知らせ

令和3年4月1日より新容器での検査のみ対応となりますので、ご提出の際はご注意ください。

案内書掲載頁	項目コード No	検査項目	変更内容	現	新	備考
90	1557	便中ヘリコバクター ・ピロリ抗原	検査方法	ELISA	EIA	国内シェア率の高い測定試薬の変更に伴う、検査方法、容器の変更
			容器	F70	F20	

■新容器(F20)のご案内

内容	ほう酸1mL
貯蔵方法	室温
採取方法	<ol style="list-style-type: none"> (準備) 容器の白ラベルを途中まではがし氏名・日付等を記入し、また巻いてください。ピンクの採便棒を回して引き抜いてください。 (便をとる) 採便棒先端の溝すべてが便でうまるように、便の表面をこすりとってください。 (便をとったあと) 採便棒を容器にもどして根元までしっかりねじ込んでください。再び開けないでください。 (保管上の注意) 添付のビニール袋に入れて提出まで冷暗所に保管してください。採便後は、すみやかに提出してください。 (注) 出来るだけ新しい便を提出してください。 (注) 採便容器の緑キャップは、絶対にはずしたり、ゆるめたりしないでください。

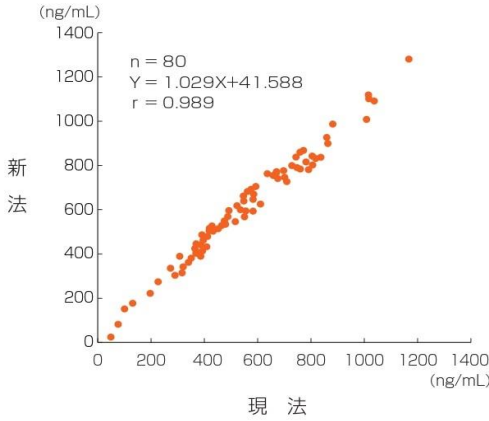


検査ニュース Vol.4 No.10

【検査方法・試薬変更に伴う現法と新法の比較】

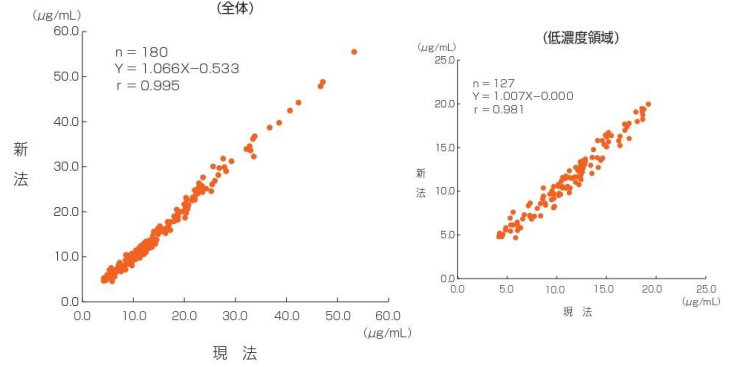
●トリプシン

▶現法と新法の比較



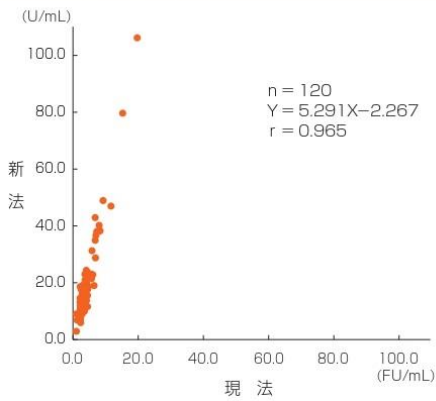
●バンコマイシン

▶現法と新法の比較



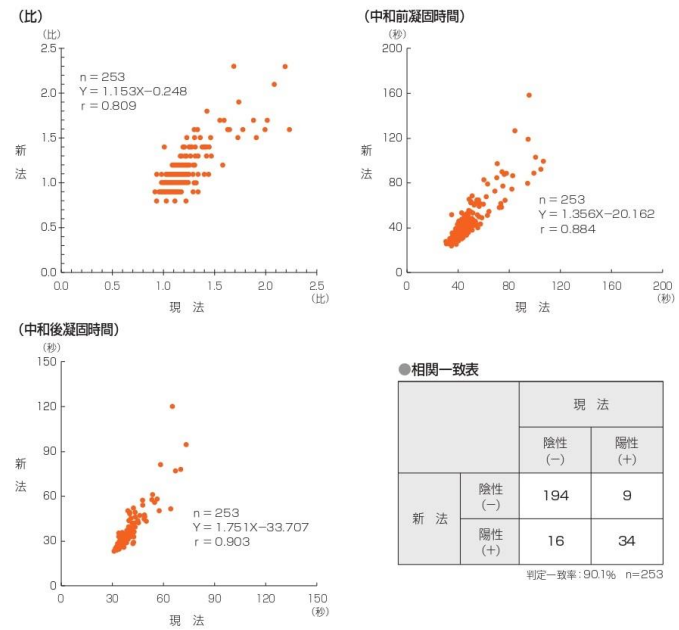
●トロンボモジュリン

▶現法と新法の比較



●ループスアンチコアグラント

▶現法と新法の比較



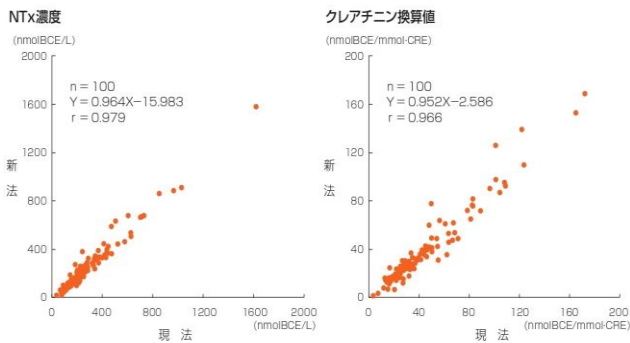
●相関一致表

		現法	
		陰性 (-)	陽性 (+)
新法	陰性 (-)	194	9
	陽性 (+)	16	34

判定一致率: 90.1% n=253

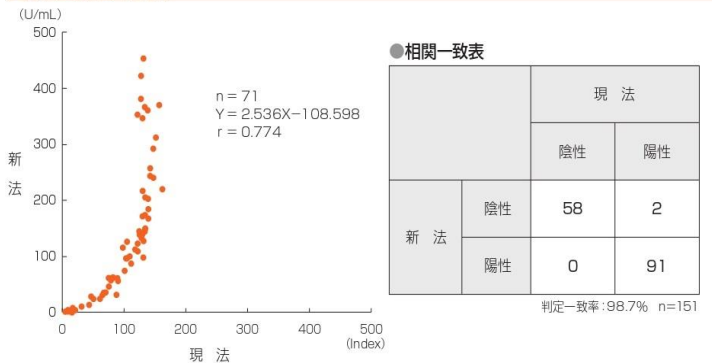
●NTx

▶現法と新法の比較



●抗セントロメア抗体

▶現法と新法の比較



●相関一致表

		現法	
		陰性	陽性
新法	陰性	58	2
	陽性	0	91

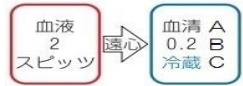
判定一致率: 98.7% n=151

検査ニュース Vol.4 No.10

●検査材料の保存条件の変更 (令和3年4月1日ご依頼分より)

(※検査案内19ページにご案内している「検査材料の保存条件」を抜粋しています。)

保存につきましては、当財団にてお預かりした後の保存条件になります。)



例)

検査に使用する材料は血清 (A) 約0.2mL (B) です。

保存条件 (C) は検査材料の保存条件です。検査項目によって保存状態が検査結果に影響する場合がありますので、ご注意ください。

保存条件

冷蔵 : 4℃前後 凍結 : -10℃以下 常温 : 20℃前後

遮光 : 直射日光、蛍光灯、紫外線を避けて保存

案内書 掲載頁	項目コード No	検査項目	変更内容	現	新	備考
43	3711	脂肪酸分画(4成分)	保存	凍結	冷蔵	保存温度の見直し
79 88	1635	心筋トロポニンT	保存	凍結	冷蔵	
85	2597	TSH刺激性レセプター抗体 (TSAb)	保存	凍結	冷蔵	
86	2618	副甲状腺ホルモン (Whole PTH)	保存	凍結	冷蔵	
87	2635	尿中カテコールアミン3分画 アドレナリン ノルアドレナリン ドーパミン	保存	凍結	冷蔵	
87	3021	メタネフリン・ノルメタネフリン分画	保存	凍結	冷蔵	
87	2663	HVA定量 (血漿)	保存	凍結	冷蔵	
87	2658	HVA定量 (酸性蓄尿)	保存	凍結	冷蔵	
87	2656	VMA定量 (血漿)	保存	凍結	冷蔵	
87	2651	VMA定量 (酸性蓄尿)	保存	凍結	冷蔵	
87	2673	5-HIAA (血漿)	保存	凍結	冷蔵	
87	2667	5-HIAA (酸性蓄尿)	保存	凍結	冷蔵	